

## 平成二十四年度総会

本会の平成二十四年度総会は四月二十六日午後三時より烏帽子山八幡宮参集殿にて開催されました。

事業報告と決算が承認された後に事業計画と予算案が提案されました。特に事業計画では保守事業の継続や定期観察会の継続、会員の拡大等事業十一項目が提案されました。役員補充



は副会長に歌丸裕介さん、幹事に川井洋子さん、庄司一雄さん、大沼恒雄さんが提案され、全議案が満場一致で承認されました。

## 研修旅行(四月二十四日)

桜の芽が膨らむと何故か体が動き出す。保存会の事業の一つに「桜の名所」を訪れる研修旅行があります。この旅はいつも素晴らしい風景に出会い感動を得られます。

昨年は天気もよく花見日和で日本三

大桜の一つ「三春滝桜」を主とした研修でした。近くで見たこれは雄大にそびえ立つ大樹で、枝は地面に届きそうに垂れ下がり大鳥が今にも羽ばたく様子に似ていてその美しさに感動しました。参加者は、十六名と少人数でしたが、バスの中でも桜を見つけては和気あいあいと話が弾み満足した素晴らしい研修会でした。

## 定期観察会

「季節ごとに桜見つめて」

烏帽子山公園の定期観察会は、今年も五月から十一月まで毎月第一日曜日に七回行われました。

さわやかな朝の時間、公園を巡回しながら、樹勢の観察、徒長枝の剪定、枯れ枝やつる草の除去などを続けてきました。

高枝の整枝剪定が必要なエリアの確認や、看板の点検をしたり、今後の手入れを話し合ったり、有意義な観察会でした。

毎回の参加者が五〜六人に固定化しつつあるのが今後の課題です。

## 二代目園案内大看板

### 強風で倒壊

平成二年から八年かけて全国各地のさくら名木を植樹し平成十年に縦四m

横二mの大案内板を設置して多くの来園者に喜ばれてきました。名木毎の説明板は計画的に更新しましたが、三月の強風で案内大看板が根元から倒れ、経年劣化は看板全体に及んでいました。急遽、桜の開花に合わせるべく寄贈者の(株)A工房さんに依頼して改修再建し、同時に痛みの激しい二代目園の木製看板や説明板も更新いたしました。



## 置賜さくら会研修旅行

南陽市、長井市、白鷹町の二市一町の八つの桜保存活動団体の会員による置賜さくら会への研修旅行が、六月十二〜十三日に行われ、本会からも六名が参加した。

一日目に全国有数の桜の名所弘前公園の剪定作業の現場で、青森市役所参事で樹木医の小林勝氏より、弘前公園の桜の剪定の実際について現地指導をいただいた。

## 桜管理育成作業

平成二十四年度も、例年通り烏帽子山公園の樹木保全のため、年間を通じて本会、市役所建設課管理計画係、地域住民との協働で管理作業が実施されました。

四月十五日	春のクリーン作戦
五月 六日	定期観察会(枯枝等の集積など)
六月 三日	定期観察会(ひこばえ・枯枝等の剪定)
二五日	樹勢回復作業(市建設課・本会他協働)
七月 一日	定期観察会(徒長枝等剪定・病虫害発生状況把握など)
八月 五日	定期観察会(徒長枝・枯枝等の剪定)
九月 二日	定期観察会(病虫害発生状況把握など)
十月 二日	定期観察会(徒長枝・枯枝等剪定)
十一月四日	定期観察会(生育状況把握)
十二月一日	桜守育成事業開催
二日	定期観察会(生育状況の把握など)
一月	なし
二月十四日	消毒作業
十五日	(市建設課へ協力)
三月四日、二三日	剪定作業・他(市建設課へ協力)